

市議会レポート

2013-①

発行:まちだ皇介事務所
〒362-0015 上尾市緑丘3-6-32
TEL/FAX 048-793-4811
Eメール k.machida@ba.wakwak.com
ホームページ http://k-machida187cm.com/

信頼・発信・安心のまちだ! ~AGE0~

上尾市議会議員

33歳

まちだ皇介



今年は

議会改革を目に見える形に!



今年の上尾市市政施行55周年。節目の年を迎えます。私が住む緑丘地域に関することでは、(仮)東保健センターが今年度末(25年3月末)までに完成し、周辺整備などを行った上で7月からオープンする予定です。また、学区内の中央小学校の新校舎が8月中旬に完成し、児童は2学期から新校舎を利用する予定になっています。

[※北校舎西棟の解体工事、北校舎・南校舎東棟の大規模改造・耐震補強工事については、平成25年度末(26年3月末)までに完了する予定]

これらの事業についても地域の方々の意見や要望などを踏まえ、これまで行政には出来る限りの対応をしていただいておりますが、実際に開設、運営されていく中で、新たな課題が見つかるということもありますので、その際には、また皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。

話は変わりますが、以前のレポートの中でも報告しました議会改革の経過についてです。

昨年6月に議会改革特別委員会を設置し、現在、議会基本条例(議会における基本事項を定めた条例)の制定を目指し、継続的に委員会を開催し、「議会がどうあるべきか」について、丁々発止のやり取りを行っているところであります。

上尾市においても、少子高齢・核家族化、介護・

医療、教育、経済の問題等々、現況に合い、且つ、多様化するニーズに応え、将来を見据えた施策を展開していくことが求められています。

議会においては、市政における課題を的確にとらえ、「市民の意見を幅広く聴取し、政策立案・提言を行う」、あるいは、「行政の提案する議案を審議し、採決をする」等々、行政と切磋琢磨しながら上尾市をより良い方向に導くという重要な役割を十分に果たさなければなりません。

しかしながら、現実として、「議会が何をやっているのかわからない」「議員の数が多すぎる」、極論では「議会はいらぬ」、そのような声が少なからずあるということを我々議員、議会はまず認識しなければなりません。「見えにくいのであれば見えるように」努力しなければなりませんし、真に市民の期待に応える市議会に変わる必要があると考えます。

その一つの手段として、上尾市議会の基本的なスタンスを定めるものが、議会基本条例であります。個々の委員の認識や考え方の違いもあり、一つ一つを合意して条例を策定することはなかなか根気のいる作業ですが、改革の土台となるこの基本条例を制定するとともに、「上尾市議会は変わった」と市民の皆さんに早く実感していただけるような形をお見せできるように今年も邁進してまいります。

まちだ皇介 プロフィール

1979年7月31日生まれ。緑丘3丁目在住。蕨高校、日本大学商学部卒業。
大学卒業後、テレビ番組制作会社、代議士事務所スタッフ勤務を経て、
2007年上尾市議会議員選挙にて、初当選。〈1,621票〉
2011年上尾市議会議員選挙にて、2期目の当選。〈2,354票〉
【現在の所属委員会】
議会運営委員会(副委員長)・議会改革特別委員会(副委員長)・福祉常任委員会委員
都市計画審議会委員・地域医療に関する懇話会委員



●拉致問題について



今年は北朝鮮が拉致を認めてから10年目、節目の年ということで家族会や救う会では今年を勝負の年とし、全ての拉致被害者を救出するため、1,000万筆署名活動を全国で展開していますが、上尾市の協力体制は？

●担当部長答弁

今年度も拉致の講演会を実施した公民館において参加者の署名をお願いしました。昨年度は、3つの公民館で、署名数355人となっています。また、北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日～16日)のパネル展示会場でも署名をお願いしています。今後は、職員にも署名協力を進めていきます。



特定失踪者(拉致の可能性を排除できない人)は特定失踪者問題調査会によると500名弱、その中でも拉致の可能性が高い方は100名を超えるということで、これまでも調査会は、家族会や救う会と連携して活動していますが、特定失踪者についてはあまり国民に認知されていないという状況があります。政府認定、未認定に関わらず、拉致された方々全員を救うという観点から公共施設等に特定失踪者のポスターを掲示していただきたいと思いますが、市の見解は？

●担当部長答弁

ポスターについては、現在開催していますパネル展において掲示しています。今後、社会福祉課カウンターに掲示し、啓発に努めていきたいと考えています。他の公共施設については、関係各課と協議の上、検討させていただきたいと考えています。

…【メモ】

12月定例会閉会后、市長の指示のもと、即座に、他の公共施設についても特定失踪者のポスターを掲示していただきました。

<救う会 全国協議会ホームページ>

<http://www.sukuukai.jp/>

<特定失踪者問題調査会ホームページ>

<http://www.chosa-kai.jp/>



家族会や救う会の方々は、最近の若い人は拉致のことを知らない人が多いので、映画やアニメ「めぐみ」、マンガ「家族愛」を教育現場で積極的に活用していただきたいとおっしゃっています。映画やアニメ「めぐみ」、マンガ「家族愛」の教育現場での活用状況は？

●担当部長答弁

小学6年生の道徳の授業で、また、中学3年生の社会科の公民的分野でアニメ「めぐみ」を活用し、拉致問題が重要な人権課題の一つであることを理解する学習を行っています。なお、文科省の選定を受けているマンガ「家族愛」については、高校生用のものでありますが、本年7月に各小中学校に情報提供させていただきました。



上尾市は家族会の飯塚代表が住む自治体でもあり、もう一步積極的に署名活動に協力できないものかと考えています。公共施設など、常時署名できる場所を確保していただきたいと思いますが、市の見解は？

●担当部長答弁

担当課である社会福祉課の窓口には、署名できる場所を確保していきたいと考えています。公共施設については、課題をクリアし、実現できるか、関係課と協議し、検討していきたいと考えています。

その他、地域包括ケア体制についても質問しました。

◆◆◆地域の活動◆◆◆



島村市長に対し、地元の武藤町会長、島田県議と共に「緑丘広場の恒久的使用について」の要望活動を行いました。(1/18)